

不祥事防止への取り組み

茨城県立日立第一高等学校
茨城県立日立第一高等学校附属中学校

本校教職員は、学校教育に携わる者として常にコンプライアンスを意識し、行動に責任をもち、教育活動に全心全意しております。

一方で、教職員による不祥事は、生徒や保護者・地域からの信頼を著しく低下させる原因となっており、なんとしても根絶しなければなりません。

そこで、本校では不祥事根絶に向けたコンプライアンスと厳正な校務執行のための教職員の意識改革や職場風土の改革をするべく、下記の取り組みを実践します。

記

1 飲酒運転に関して

- ・事前に飲酒することを同席するメンバーに伝え、運転しないように相互に声かけ・確認を行います。
- ・飲酒をしないハンドルキーパーを決めておき、その人が自動車の運転をして仲間などを送り届けるようにします。また、可能な限り、公共交通機関を利用します。

2 体罰に関して

- ・アンガーマネジメント研修を行い、スキルを身に付けます。
- ・指導は、できる限り複数人の教員で行い、チームで対応していきます。
- ・教職員の言動等にも注意していきます。

3 わいせつ（盗撮を含む）に関して

- ・指導はオープンで行い、生徒と2人きりになったり、密室で指導をしたりすることを避けま
- す。
- ・教職員のアンケート調査を定期的実施したり、同性同士での話合い（職員研修）の場をも
- ったりします。
- ・必要時以外にスマートフォンやタブレットを起動させません。
- ・校内の整理・定期点検を行います。

4 個人情報の管理に関して

- ・定期的に学年会等で、管理状況を確認します。
- ・個人情報は全て校内で管理（電子情報は校内サーバーのみに保存）し、外部への持ち出しを
- しません。持ち出す場合は、「情報資産持出記録台帳」へ記載し、管理職の許可をもらいます。
- テストの答案等（個人情報）についても同様に行います。

5 その他

- ・定期的に職員研修（ボトムアップ型・外部講師招聘を含む）を設定するとともに、教職員が
- 抱える不安や気になることを学年会等で共有します。
- ・職員間のコミュニケーション向上を図る取り組みや、職員の業務を減らす取り組みを行い、
- 風通しのよい職場環境を作ります。
- ・教職員は、「不祥事防止のためのチェックリスト」を利用し、自己点検を行います。（4月・9
- 月・1月）
- ・教職員は、生徒との個別のSNSでのやり取りをしません。（Classroom等を利用）
- ・教職員や生徒が相談しやすい環境を整え、安心安全な学校生活を送れるようにしていきます。
- また、校外の相談窓口の案内や警察・地域と連携をしていきます。

日立第一高等学校・附属中学校の職場全体で協調し、今後も全職員が一丸となって不祥事根絶に取り組みます。また、自分の学校から不祥事が起きないよう教職員一人一人が更に自覚と努力をして参ります。